



▲災害に強いまちづくりに役立ってます

**緊急時に備えて  
災害救護資器材贈呈式**

2月26日、役場で日本赤十字社秋田県支部から災害救援車1台と災害用移動炊飯器2台の贈呈を受けました。

これは、地域に密着した赤十字活動の推進と地域における災害救護活動の更なる充実を図るため寄贈されています。

贈呈式では、日本赤十字社秋田県支部の梅井事務局長より町長へ鍵が手渡されました。

三浦町長は「頂いた車両をフルに活用し、災害につよい町づくりに努めます。」と述べました。



▲お買い物楽しいな！

**本日開店  
おばあちゃんのお店**

2月27日、下岩川保育園で、本地区更生保護女性の会（北林テリ子会長）と民生児童委員協議会山本支部（藤原優支部長）の皆さんによる恒例行事「おばあちゃんのお店」が開店しました。

子どもたちに、おこづかいの使い道を考えながら買い物を楽しんで欲しいと、山本地域の保育園で毎年開催しているものです。子ども達は、手作りのお金と財布をもつて、駄菓子やおもちゃを袋いっぱいで購入し、満面の笑みを浮かべていました。



▲包丁握る眼差しは真剣

**男子 厨房に入ろう！  
おさかな料理教室**

3月3日、琴丘地域拠点センターで「男性向け おさかな料理教室」が開催されました。

男女共同参画事業として毎年開催されているもので、今回は、川村金一郎さん（鹿渡）を講師に魚料理を体験しました。

メニューは、アジ、イカ、鯛の刺身と鯛のあら汁で、包丁を研ぐところから始めました。当日は8人の男性が参加し、川村さんから指導を受けながら慎重に魚をさばって料理を完成させました。



▲若者達の感情こもった迫真の演技

**僕たちの前に道はない  
僕たちの後ろに道はできる  
長信田の森演劇公演**

3月11日、山本ふるさと文化館で、長信田の森演劇公演「道程」が上演されました。

7回目となる今年は、長信田の森心療クリニックに集う若者達18人が、親と衝突しながらも役者の道を進む青年の物語を熱演、脚本・演出をわらび座座友、近藤眞行さん（鹿渡）が手がけました。

若者達の感情のこもった迫真の演技や、母への思いを語る場面では実際に母に向けて書かれた文章を読み上げ、会場に集まった480人の観客を魅了し、感動を与えました。